

第5回 北上市立更木小学校・二子小学校 統合検討委員会 会議要旨

日時：2026年7月15日（水） 18:35～20:30

参加者（敬称略）：堀川勇、八重樫龍平、澤田安弘、伊藤修司、石川学、澤田真、八重樫雅弘、八重樫佑介、川邊泰雄、斎藤芳里、浅野博道、小原喜芳、千田恵一、藤村隆広、澤田千恵子、川村恵壽、平野直志、北上市教育委員会 教育部総務課長 嶽間澤健一郎、総務係 岩渕麻美、高橋典男

欠席者：及川和志、小原健史、学校教育課長 多田義孝

会議の概要：

冒頭に委員会の成立を報告し、前回議事（資料1）の共有と協議事項確認表（資料1-2）を確認した。協議では、各委員がワークシートに書き出した後に、重要協議事項（統合時期、使用校舎、校名、校歌、校章）について委員一人一人の意見を確認した。使用校舎については二子小学校を活用することで一致した。統合時期は2027年度を希望する意見が多かったが2028年度を望む意見もあり、引き続き協議が必要となった。校名・校歌・校章については二子小を基本とする意見が大半だったが、新しいものを検討するとの意見もあった。

最後に、検討委員会だより第4号の方針確認と、次回（第6回）・次々回（第7回）開催日程の調整。第6回は7月29日、第7回は8月19日に確定した。

次第2：委員長あいさつ・出席確認・担当紹介

- 委員長挨拶（澤田委員長）：
 - 「児童の最善の利益」を念頭に、多様な意見の一致点と不一致点を見える化していく。
- 定足数と出席者の確認（事務局）：
 - 出席状況の報告：委員19名中15名出席（途中参加者が加わり18名で会議を進行）。過半数のため会議成立。

次第3：報告(1) 前回委員会の議事内容

- 内容詳細：

- 前回（7月1日）委員会要約の読み上げと、協議事項の進捗を再確認。
- 協議事項一覧（資料 1-2）について、統合経験者との意見交換を追記。
- 意見等特になし。

次第 4：協議(1) 学校統合にかかる統合時期等の重要事項について

統合時期、使用する校舎、校名、校歌、校章について、全委員から意見を出してもらい、意見交換した。

使用する校舎については、現在の二子小校舎とすることで一致した。

統合時期については 2027 年度とする意見が多かったが、2028 年度を望む意見もあった。早期の複式学級解消、学童統合の調整期間の必要性、地域理解などについて意見が分かれた。

校名、校歌、校章については二子小のものを希望する意見がほとんどだったが、統合に伴い新たな校名等を望む意見や、子どもは執着しないとしていずれでも可とする意見もあった。

統合時期、校名、校歌、校章について次回協議を深める方針が確認された。

それぞれの項目に対する意見内容は以下のとおり。

- 使用する校舎：

- すべての委員が現在の二子小校舎を使用することで意見が一致した。
- 主な理由
 - 現状で受け入れ可能、改修なしで使用開始できる認識。
 - 教室数・キャパシティが十分。
 - 児童数が多い側に合わせることで環境変化を最小化。
 - 令和 9 年 4 月（2027 年 4 月）統合へ最短でスムーズ。
 - 更木側の複式学級解消を早期実現。
 - 通学の現実性（更木→二子のほうが合理的）
- その他意見
 - 二子小校舎を訪問したことがない保護者は現地確認を希望。
 - 老朽化を懸念。改修時期を建築物計画に含められるか検討。

- 統合時期：

2027 年度、2028 年度で意見が分かれた。それぞれに複式学級解消、児童の心の準備、学童統合の調整期間の確保、校名・校歌・校章変更の可能性、地域への配慮などが理由として挙げられた。以下のような論点を確認された。

- 2027 年 4 月（早期統合）支持の意見：
 - 複式学級の早期解消で児童・教員の負担軽減。
 - 児童数が多いうちの統合が児童の環境適応を助ける。
 - 統合自体は既定のため環境整備を急ぐべき。
 - 早期決定により交流を深め円滑移行。
- 2028 年 4 月（準備期間重視）支持の意見：
 - 校名・校歌・校章、記念事業などに時間が必要。
 - 在校生の心理的・物理的準備期間の確保。
 - 学童保育の運営差の調整が 2026 年度内まででは困難。
 - 両校の教育課程のすり合わせ期間が必要。
- 共通条件・論点：
 - 両学童運営のすり合わせ。
 - 閉校事業は教員負担増を避けての実施を要望。

● 校名・校歌・校章：

二子小学校のものを使用することに意見が集まったが、現在の更木小在校生が卒業まで歌い継げるなど柔軟な対応を求める意見もあった。一方で、新しい校名等の検討を望む意見のほか、児童の意見を反映したものを採用する提案もあった。次回意見をすり合わせる。

「二子小学校」のものを希望する意見

- 2027 年度統合を考えているため。
- 二子小児童の児童数の方が多く効率的。
- 二子小学校のものを使うことになっても更木小児童は大人が考えるほど負担がないと思われる。
- 検討委員会当初は不安だったが、二子地区の方々の思いやりを感じる話し合いができていたため。
- 二子小のものを採用する場合には、卒業式で更木小校歌を歌うなど柔軟な対応できれば。

「その他」を希望する意見

- 2つの地域の学校統合となるのでこれを機に新しい校名等を検討しては。児童から案を募っても良い。
- 児童は意識していないようなので、どれでも良い。

その他関連する意見など

統合対象児童・保護者からの意見聴取

- 現 5 年生（統合時最高学年となりうる）の意向聴取、来年度新入生や保護者（PTA）の意見聴取を提案。委員会としての調査ではなく、更木小保護者にて参考意見として確認が望ましい。
- 参照情報: 更木小学校の令和 9 年度入学予定 2 名、令和 10 年度 1 名。

学童保育の統合課題とサポート体制

- 二子学童と更木学童の統合は運営形態差（保育料、給与体系、補助金管轄等）があり、調整が必要で、保護者のみの話し合いでは調整困難。
- 子育て支援課等のサポートを要望。課題の整理や仲介支援を期待。
- 学童統合は学校統合と必ずしも同時でなくてもよい。

将来のビジョン

- 児童数減少を見据え、10～20 年先の学習環境の変化を考え、義務教育学校や小中一貫校の構想を視野に入れては。二子小や北上北中校舎の改修計画を連動させ、新しい学校としての再スタートを想定。

子どもたちにとってよりよい教育環境を整える視点にたち、統合時期、校名、校歌、校章について更に協議し、意見集約を図っていくことを確認した。

次第 5 その他：統合検討委員会だより（第 4 号）の発行と次回日程

- 内容詳細：
 - 事務局より、統合検討委員会だより第 4 号の案を提示。
 - 今回の委員会での座談会を反映させ、お知らせする。
 - 次回日程：2026 年 7 月 29 日（水）および 8 月 19 日（水）18:30 に決定。場所は更木地区交流センターと二子地区交流センター。